

広報

あきた

目次

- 1 - 6 平成10年度事業の紹介
- 7 中小企業の融資あっせん制度
- 8 市役所からのお知らせ / 春の全市一斉清掃
水道工事のチェックポイント
- 9 秋田市人事異動と機構改正
- 10 - 11 情報チャンネル
- 12 市長談話室 / ひと / おしゃべりかわらばん

毎月第2・第4金曜日発行 No. 1431

平成10年 編集発行 秋田市役所広報課 〒010-8560 秋田市山王一丁目1-1 ☎(63)2222
秋田市ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/>



永遠の詩

1998年 新年度事業スタート

三世代家族で渡り初め

三月三十日、七十億円という巨額の建設費と六年の歳月をかけた秋田南大橋が開通しました。雄物川をはさんで近くて遠かった仁井田地区と豊岩地区が、六百八十九メートルにおよぶ永遠の架け橋で結ばれた瞬間です。この日は、両地区の親子三世代のご夫婦をはじめ約三千人の市民が渡り初め。好天にも恵まれ、歴史に残るすばらしい開通式となりました。

春の陽光ふりそそぐ悠久の橋から、秋田市発展の永遠の詩が聞こえます。

2千億円を超える予算総額

昨年は秋田市にとって、歴史的な出来事が多い年でした。秋田新幹線や秋田自動車道の開通により、「近い秋田」が現実のものとなりました。また、中核市移行により、地方分権を進める新しい一歩を踏み出した年でもありました。

市民みんなでつくり上げていく「きらめく北の人間都市あきた」。その土台が一層確かなものとなって、また新しい年度の事業が始まりました。今号では、平成十年の各種事業を「第八次秋田市総合計画」に掲げる五つの将来都市像に沿ってご紹介します。

今年度の秋田市の予算総額は約二千九百億円。暮らしに身近な市民サービスに主眼をおきながらも、当初予算で初めて二千億円の大台を超えました。

今年秋田市情報公開条例が制定され、七月から秋田市でもいよいよ情報公開制度が始まります。障害者プランもスタートし、高齢者プラン、エンゼルプランと合わせ福祉の三本柱がそろう、保健・福祉サービスもより充実していきます。

(関連記事六面まで続く)